

※記事を読むより動画で見たほうが良いと思われる方は
「国際交流塾やまぐち」YouTube チャンネルをご覧ください！
チャンネル登録もお願いします！



CIR レポート 9月号(ロシア)

日本とロシア：マナーの違い

国際交流員 バレンティエーナ・ボトホエバ

皆さん、こんにちは！山口県ロシア交流員のバレンティエーナです。

日本とロシアのマナーは、人差し指で人を指すのはいけないなどの似ているものもありますが、違うものがたくさんあります。今回はマナーの違いについて話しましょう。

① 招くジェスチャー

日本では手のひらを下にして「こっちにおいで」と手招きしますが、欧米では「あっちに行け」という意味に捉えられてしまいます。

ロシア人に手招きしたいときは、「手のひらを上」にして手招きすればまあまあ OK ですが、言葉で呼んだほうが良いです。ジェスチャーで招かれると、感情を表には出さないので、心の中で「ペットじゃないですけど」と思ってしまいます。

ちなみに、握手のマナーもあります。男性同士で挨拶するとき、必ず握手しますが、手袋を外すのがマナーらしいです。女性はあまり握手しないので、私も知らなかったです。

② 席を譲る

公共交通機関に乗っている場合に、妊娠中や年配の方が近くに現れたら、迷うことなく席を譲ることをおすすめします。そうしないと周りから白い目で見られる、叱られる可能性があります。席を譲るのは日本でも同じだと思いますが、ロシアでは日本よりもさらに厳しいです。

③ 徹底したレディファースト

ドアは男性が開けて必ず女性を先に通します。エレベーター等に乗る・降りるとき、男性は女性を先に行かせるのもマナーです。乗り物を降りる時に男性が先に降りて、女性に手を差し出します。その女性が部下であっても同様です。

ワイン等の酒類をお酌するのは、日本ではなんとなく女性の役割とされていますが、ロシアでは男性の仕事になります。

すべての男性がそうしてくれるとは限らないですが、マナーのいい人なら、煙草に火をつけたり、コートを脱がしてくれたり、荷物を持ってくれます。日本人女性にとってはちょっとこそばゆいかもしれないですが、日本のお辞儀に慣れてないロシア人は同じような気持ちになると思いますので、遠慮せずにやってもらってください。どうせ、ロシア人に遠慮は通じないからです。

たとえ男性が目上の人でも、何より優先されるべきは女性です。

ヨーロッパや日本に住んでいると、アパートの隣人からの文句は不動産屋さんなどを通じますが、「何で直接私に言ってくれなかったの？」とびっくりするのはロシア人です。ロシアではまず直接ドアにノックして、本人と話をします。どうしても話を聞かないようだったら、どこかに報告します。本人に何も言わずに報告するのは悪いこととみなされています。現在も、暗黙のルールとして残っていますので、ロシアに住んでいると、隣の人がコンコンしてくるかもしれません。覚悟してください。

④ 相槌は打たない

日本では話を聞いている最中に頷いたり、「へえ」、「そうですね」、「うんうん」と音を出して相槌を打ったりしますが、ロシアでは相槌をほぼ打ちません。誰かの話を聞いているときは、じっと黙って相手を見ているほうが、真剣に聞いていることのサインとして捉えられます。

ロシアで通訳の仕事していた時、私の他に日本語の通訳者がたくさんいましたが、日本語が話せない同僚とロシア語で会話するときも、「通訳者のみんなは何でいつも変な音を発するの？」と聞かれたことがありました。ロシア人との会話の中で日本の相槌は通じないので、「へえ」とかつい言ってしまうと変な目で見られます。

⑤ 身体的特徴は話題にしない

日本では、褒め言葉のつもりで「背が高い」や「色が白い」など相手の身体的特徴について発言することがありますが、ロシア人に対しては褒め言葉に当たりません。「スタイルがいい

い」とか、「この色が似合うね」とかはいいですが、例えば、「顔が小さい」というフレーズは褒め言葉として認識されないため、全く通じません。

⑥ 食事のマナー

食事については欧米諸国と同じく、音をたてるのはマナー違反です。日本人の場合は「すする音」がありますね。麺類はもちろん、どんなに熱いスープでも音をたててすするのは禁物です。そして、皿を持ち上げて食べない、スープなどを食べる時にスプーンが皿に当たる音もマナー違反です。紅茶やコーヒーを混ぜるときも同じです。マナー違反なのに、混ぜてから、ティースプーンをコップの中に残すロシア人がたくさんいますが、理由がわかりません。

日本でいう「寄せ箸」や「箸渡し」の箸がフォークに替わるだけで、こちらもマナー違反に変わりありません。ヨーロッパと同じように、フォークは左手、ナイフは右手、手がテーブルの下に行かない、肘をテーブルにつかないです。日本も同じですね。

⑦ 訪問のマナー

お宅訪問の際にちょっとした手土産を持っていくのは日本でもありますが、日本よりもその習慣が根付いていると思います。

甘いもの、お菓子を持っていくのが一般的ですが、子供のいる家庭なら子供のおもちゃも喜ばれます。

ホストファミリーに女性がいるのなら、花を贈るのもごく当たりまえに行われています。その際、「偶数本」、「黄色い花」、「カーネーション」は縁起が悪いため避けた方がいいです。招待先ではコート類は必ず玄関で脱いでコート掛けに掛け、リビングに持ち込んだりしないようにしましょう。日本と同じなのは玄関でスリッパに履き替えること、日本と違うのはトイレ専用のスリッパがないことです。

ロシアでは外がすごく汚いです、特に雪が解ける季節は泥だらけです。だから、直接地面や床に座らないで、何かのシートやビニール袋が必ず必要です。じゃないと気持ち悪いです。

Хорошие манеры в России и Японии: разница

Жест «Иди сюда»

В Японии часто используют жест подзывания рукой – вытягивают руку в сторону адресата ладонью вниз и делают 2-3 маха пальцами. В западных странах и России этот же жест воспринимается скорее как «иди отсюда».

Похожий жест ладонью вверх в России поймут, но не оценят. Самый бесприкрытый вариант – обратиться к человеку вслух.

② Уступать место

В России стоит сразу уступать место в транспорте людям пожилого возраста и беременным женщинам, иначе можно навлечь на себя осуждение окружающих и даже ругань. В Японии уступание места также относится к числу хороших манер, но этого правила придерживается меньшинство.

③ Дамы вперед

В Японии настолько несвойственна эта сторона этикета, что приезжая в Россию, японки зачастую просто теряются и чувствуют себя некомфортно при проявлениях галантности к ним, как женщинам. Хотя и русским мужчинам в некоторых случаях стоило бы хоть как-то давать понять, что они просто хотят помочь: когда у тебя в чужой стране из рук внезапно уплывает чемодан куда-то вверх по лестнице, невольно начинаешь паниковать и мысленно прощаться со своими пожитками.

④ Жалобы на соседей

Для живущих за границей русских предупреждения от управляющей компании о жалобах от соседей всегда являются сюрпризом и поводом для недовольства. В России больше принято стучать в стену и ругаться с мешающими соседями лично. В Японии же возмущенные соседи могут позвонить даже на работу доставляющего им неудобство иностранца.

⑤ Поддакивания во время разговора

Японцы привыкли выражать свой интерес громкими восклицаниями, частыми кивками и даже долгим мычанием. И непривычные к такому русские находят это весьма странным. Тех, кто приезжает в Японию впервые часто удивляет, что здесь все действительно говорят, как в просмотренных дома аниме.

⑥ Compliments of appearance

In Japan, it is often possible to hear compliments addressed to you, such as «You are so tall» or «Your skin is so white», and this is in no way related to European appearance. Compliments about body features here are generally in vogue, reaching to the point of being strange. In particular, foreign girls often do not know how to react to the phrase «You have a small face», not immediately recognizing it as praise.

⑦ At the table

In Russia, as well as in the West, it is considered unacceptable to make loud noises while eating. In Japan, it is also considered inappropriate, with the exception of eating ramen and other noodles, which are eaten loudly and with relish.

⑧ As a guest

In both countries, it is customary to go to a guest with something small and tasty in your hands, but in Russia this custom is more deeply rooted and manifests itself more diversely. Unlike the Japanese, Russians can bring flowers to the hostess, toys for children, alcohol for adults.

In Japan, they remove their street shoes and, here and there, with a difference, that Russians do not have separate toilet slippers.